

西日本社会学会ニュース No.167 2022・4・26 プログラム修正版

第 80 回 大会号

2022 年 5 月 7 日 (土)・8 日 (日)

開催校：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

〒650-8586 兵庫県神戸市中央区港島 1-1-3
TEL 078-974-1551 (代表)

【 目次 】

大会スケジュール	: 1
大会案内	: 2
第 80 回 大会プログラム	: 3

発行：西日本社会学会事務局
〒819-0395 福岡市西区元岡 744
九州大学文学部
社会学・地域福祉社会学研究室

TEL & FAX 092-802-5287 (研究室直通)
<http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~sociowest/>

第 80 回 大会 スケジュール

5 月 7 日 (土)		5 月 8 日 (日)	
9:55	開会の辞		
10:00	自由報告(1)	10:30	自由報告(3)
11:00	編集委員会		
12:30	理事会	12:30	シンポジウム打合せ
	昼食		昼食
14:00	自由報告(2)	13:30	シンポジウム (報告・討議を含む)
		16:30	閉会の辞
17:00	総会		

大会案内

- ★ 第80回大会はZOOMを使用したオンライン開催となります。ミーティング情報については、後日メールにてお知らせいたします。
- ★ 自由報告・シンポジウムは、神戸学院大学現代社会学部現代社会学科の講演活動の一環として、神戸学院大学教職員、学生、ならびに一般市民に向けても公開予定です。
- ★ 会員の皆様から直接、お知り合いの非会員の方にミーティング情報をお伝えいただいても構いません。
- ★ ミーティングへ入室される際には、会員の皆様は表示名を「氏名(所属)」としてください。非会員の方は「氏名(非会員)」としてください。
- ★ 会員、非会員を問わず、大会参加費は無料となります。
- ★ 自由報告の時間は、原則として 1 報告につき報告 15 分、討議 10 分とし、全報告終了後、最後に総括討論を行います。但し司会者の判断によっては、この限りではありません。
- ★ 報告資料の共有方法については後日、大会 1 週間前までにメールにてお知らせいたします。

第80回 大会プログラム

5月7日(土) 午前の部

開会の辞 9:55

自由報告(1) 10:00 ~ 12:30

司会 福本純子(福岡県立大学)

高寄浩平(九州大学大学院)

「跡地のまちづくり活動」は何を目指すのか
——大学跡地に対する地域の活動の意義と可能性

宮崎真弥(九州大学大学院)

社会福祉協議会の死後事務委任事業の現状と課題
——高齢者と家族の関係性の視点から

蘆理恵子(専修大学)

「越境」する人々と「信頼貯金」
——地域おこし協力隊OB・OGの語りから

三隅一人(九州大学)

地域社会フリーライダーの可能性
——熊本地震をケースとして

三浦典子(山口大学名誉教授)

小谷(三浦)典子『内藤莞爾の社会学——九州大学文学部社会学研究室の窓から』(学文社)の意図するところ

5月7日(土) 午後の部

自由報告(2) 14:00 ~ 16:30

司会 大島啓(長崎国際大学)

鐘宇翎(熊本大学大学院)

犯罪不安についての一考察
——日本社会における「犯罪不安の高まり」の理解をめぐって

小田和正(北海道大学)

フィギュレーションとシンボル世界の再編
——エリアス知識社会学の発展的継承の試み

桑畑洋一郎(山口大学)

「歴史」はいかに「教訓」となるのか

山本努(神戸学院大学)

売買行為は社会ではないのか?
——富永、高田、ウェーバーの学説の評価

ミセルカ・アントニア(ウィーン大学)

地域社会の衰退と復興
——女性活躍がもたらす社会的変化と地域の将来

第80回 大会プログラム

5月7日(土) 午後の部

総会 17:00 ~

1. 開会の辞
2. 座長推挙
3. 報告事項
 - ① 庶務報告
 - ② 会員数に関する報告
 - ③ 学会誌編集委員会からの報告
 - ④ 2021年度決算報告
 - ⑤ 監査報告
 - ⑥ 役員選挙結果報告
4. 審議事項
 - ① 新入会員の承認
 - ② 2022年度学会予算について
 - ③ 2022年度編集委員会予算について
 - ④ 来年度開催校の決定について
 - ⑤ 理事の指名・事務局長の委嘱
 - ⑥ 新会長の挨拶
 - ⑦ その他
5. 閉会の辞

第80回 大会プログラム

5月8日(日) 午前の部

自由報告(3) 10:30 ~ 12:30

司会 佐草智久(日本福祉大学)

王美玲(淡江大学)

フリースクールの組織構造と課題
——台湾と日本の比較

日高優介(鹿児島大学)・伊藤慎吾(公立中学校非常勤講師)

発達障害児支援をめぐる教員と保護者の連携を阻害する要因の研究

近藤功行(沖縄キリスト教学院大学)

新聞記事にみる障害/障がい記載の現状

徳野貞雄(テクノスクール・農村研究所)

過疎地住民の定住に対する葛藤
——役場職員の事例から

5月8日(日) 午後の部

シンポジウム 13:30 ~ 16:30 (報告・討議を含む)

行為論再考——経験的実証研究と社会学理論との新たな対話を求めて

司会 江頭大蔵(広島大学)

報告者(以下、題目は仮題)

第1報告 中村文哉(山口県立大学)

行為論の地平と問題系

第2報告 山田富秋(松山大学)

フィールドワークの文脈での行為論

第3報告 井腰圭介(帝京科学大学)

歴史研究における行為論的分析の特性——『プロ倫』のデータ処理の事例による検討

第4報告 石橋潔(久留米大学)

意味の相互作用と表情の相互作用——局地的なゆらぎ、そして対面性の今後

討論者 佐藤成基(法政大学) 多田光宏(熊本大学)

閉会の辞 16:30